

Free Market of · by · for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

—講座の概要 (2022年度)—

人間は多様な危機に曝されつつ多様な機会に巡り合う中で技術革新、制度改革、人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活をしてきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしつつ社会と世界において活動を展開していく幅広い基盤を固めるためには、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW : Free Market of · by · for Wisdom)」を開設した。

理念を構築し人の輪を形成し始めた黎明期 (~2003年度) を経て、化学生物総合管理の再教育講座として第Ⅰ期・形成期 (2004-2008年度) の活動を開始し、開講機関や連携機関などとの協力関係を構築しつつ講師や受講者との人の輪を拡大して全国から大きな反響を得た。そして自主的かつ自発的な教育活動であることを鮮明に掲げた第Ⅱ期・展開期 (2009-2012年度) は視野を拡張しながら全国に開講拠点を拡大した。その上で、第Ⅲ期・自立期 (2013-2017年度) は自立的かつ自律的な活動の基盤を確立してボランティア活動として知の市場を社会に定着させた。そして、第Ⅳ期・進化期 (2018年度-) はこの自立的な教育活動をさらに進化させつつ世界に展開している。

この成果を踏まえて、知の市場は自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場 (Voluntary Open Network Multiversity) として存在感を示している。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進するべく挑戦している。

毎年平均して第Ⅰ期は2拠点で346名の講師の参画により44科目を開講し1203名の応募者が参加し、第Ⅱ期は29拠点で625名の講師の参画により68科目を開講し3462名の応募者が参加し、第Ⅲ期は33拠点で566名の講師の参画により73科目を開講し2644名の応募者が参加した。14年間で毎年平均して21拠点で504名の講師の参画により66科目を開講し2363名の応募者が参加し、合計7061名の講師の参画と延べ33088名の応募者の参加があった。

2022年度は、リモートで開講する21科目を含めて、合計23拠点で304名の講師の参画により45科目・コースを開講する。このうち、2022年度の新規開講科目は合計20科目である。そして2022年度の内訳は、教養編として名古屋市立大学大学院が3ユニット、名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所が1科目、製品評価技術基盤機構が4科目、日本リスクマネージャネットワークと関西大学化学生命工学部が共同で継続新規の1科目を含む2科目、化学工学会 SCE・Net が継続新規の1科目を開講し、知の市場がリモートで新規に16科目を開講する。専門編として名古屋市立大学大学院医学研究科が新規の1科目を含む7科目、明治大学リバティアカデミーが継続新規の1科目を含む2科目、名古屋市立大学と中京大学が合同で5コースを開講する。加えて、研修編として動物臨床医学研究所が2科目、アダムジャパンが1科目、東洋システムが1科目を開講する。

【体系と機能】

Free Market of · by · for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として
 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して
 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場

- 友の会 連携学会 協力者・協力機関 有志学生実行委員会 知の市場事務局 協議会 評価委員会

I 教養編	愛知・名古屋市立大学(1)最新医学	名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジ	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 3期制、計3ユニット開講
	北アルプス・蝶ヶ岳	名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所	名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所 夏季、計1科目開講
	東京・幡ヶ谷	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構(京王新線幡ヶ谷駅) 前期2科目、後期1科目、計3科目開講
	大阪・住之江	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構製品安全センター 前期1科目、計1科目開講
	大阪・千里山	日本リスクマネージャネットワーク 関西大学化学生命工学部	関西大学千里山キャンパス(阪急千里線関大前駅) 後期2科目、計2科目開講
	東京・茗荷谷	化学工学会SCE・Net	Zoomによるリモート開講 前期1科目、計1科目開講
	リモート・全国	知の市場	Zoomによるリモート開講 前期6科目、後期7科目、通期3科目、計16科目開講
II 専門編	愛知・名古屋市立大学(2)学びなおし	名古屋市立大学大学院医学研究科	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 2期制:各期3科目、計6科目開講
	〇〇出張先〇〇(未定)	名古屋市立大学大学院医学研究科	出張先未定(全国の複数個所に出張して開講する予定) 通期1科目、計1科目開講
	愛知・名古屋市立大学(3)実務教員	名古屋市立大学	名古屋市立大学山の畑キャンパス・川澄キャンパス (名古屋市地下鉄桜山駅) 前期1コース、後期2コース、計3コース開講
	愛知・中京大学	中京大学	中京大学名古屋キャンパス(名古屋市地下鉄八事駅) 豊田キャンパス(名鉄豊田線浄水駅) 後期2コース、計2コース開講
	東京・明治大学	明治大学リパティアアカデミー	対面式かリモートか未定 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
III 研修編	鳥取・倉吉	動物臨床医学研究所	Zoomによるリモート開講、または対面式(開講場所は倉吉、岡山) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	埼玉・狭山元気プラザ	アダムジャパン	狭山元気プラザ、アダムジャパン(西武新宿線狭山市駅からバス) 後期1科目、計1科目開講
	東京・東京駅	東洋システム	アットビジネスセンター東京駅(JR東京駅八重洲口・地下鉄八丁堀駅) 前期1科目、計1科目開講
IV大学・大学院編			

I. 教養編

1. 愛知・名古屋市立大学（1）最新医学 知の市場

（1）開講機関

名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジ

名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジが2014年度から名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジに改称された。

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html> を参照する。

（2）開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

（3）概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、3期に分けて3ユニットを開講する。

1) 継続科目として3ユニット

①名古屋市立大学大学院医学研究科

最新医学に関する3ユニット（第1、2、3期講座）

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネーターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参画している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。90分授業8回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18時30分～20時）に開催する。

6回以上出席者には受講修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり8,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173
2011	3	180	137
2012	3	218	173
2013	3	325	277
2014	3	327	289
2015	3	347	301
2016	3	359	299
2017	3	334	287
2018	3	296	257
2019	3	74	74
2020	3	41	36
2021	3		
2022	3		
合計	65	4633	3750

(2021年12月8日現在)

2. 北アルプス・蝶ヶ岳 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所

詳細は <http://chogatake.umin.jp/syukai.html> を参照する。

(2) 開催場所

北アルプス・蝶ヶ岳 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所

(3) 概要

名古屋市立大学の学生・院生と教職員の有志が、登山者の健康管理のために長年にわたり毎年夏に開設している蝶ヶ岳ボランティア診療所の活動と並行して開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、夏季に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所

登山や健康・医学そして自然などに関する幅広い内容の科目（夏季）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2018	1	600	600
2019	1	536	536
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	5	1136	1136

(2021年12月8日現在)

3. 東京・幡ヶ谷 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構（京王新線 幡ヶ谷駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、微生物資源、バイオ安全、製品安全分野に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目、後期に1科目の合計3科目を開講する。

1) 継続科目として3科目

①製品評価技術基盤機構

i) 化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目（前期）

ii) 微生物資源の活用とバイオ安全の基礎知識に関する科目（前期）

iii) 製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（後期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	48	26
2013	2	59	32
2014	2	62	33
2015	2	56	47
2016	3	131	131
2017	3	182	182
2018	3	348	348
2019	3	155	155
2020	3	-	-
2021	3		
2022	3		
合計	29	1087	982

(2021年12月8日現在)

(注1) 2011～2014年度の開講実績は、主婦連合会と共催で東京・四ツ谷の主婦会館で開講した科目を含む。

4. 大阪・住之江 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構製品安全センター

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（前期）

この科目は、大阪にて前期に開講するほか、後期に東京にて開講する。

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	50	29
2013	1	33	18
2014	1	39	20
2015	1	26	21
2016	1	35	35
2017	1	59	59
2018	1	48	48
2019	1	-	-
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	26	765	521

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2021年12月8日現在)

5. 大阪・千里山 知の市場

(1) 開講機関

日本リスクマネージャネットワーク

詳細は<http://www.jrmn.net/>を参照する。

関西大学化学生命工学部

詳細はhttp://www.kansai-u.ac.jp/Fc_che/を参照する。

(2) 開催場所

関西大学千里山キャンパス (阪急千里線関大前駅)

(3) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは身近な生活・環境害虫の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①日本環境動物昆虫学会

身近な生活・環境害虫の防除に関する科目 (後期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2	34	10
2013	2	41	22
2014	2	33	9
2015	2	31	16
2016	2	29	15
2017	2	36	19
2018	2	27	12
2019	2	25	12
2020	2	-	-
2021	2		
2022	1		
合計	29	365	192

(2021年12月8日現在)

(注1)2009年度の開講実績は、2010年度から日本リスクマネージャネットワークが継承した科目を東京の早稲田大学規範科学総合研究所と東京工業大学社会人教育院が開講機関として開講したものである。

(注2)2010、2011年度は早稲田大学規範科学総合研究所と共催で大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ研修室にて開講した。

6. 東京・茗荷谷 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyouiku.html> を参照する。

(2) 開催場所

Zoomによるリモート開講

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会のより幅広い人々に技術や事柄についての基礎知識を提供する目的で、分割受講を可能とするなどの改革を行い、原子力と放射線に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続新規科目として1科目

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射線の基礎から応用までを学ぶ科目（前期）

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行するが、分割受講も可能である。

受講料は1科目あたり5,000円で、分割受講の場合は3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	6	152	85
2013	2	51	29
2014	4	50	50
2015	2	31	24
2016	1	23	23
2017	1	21	21
2018	1	14	14
2019	1	11	11
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	53	1010	574

(注) 2013年度以前は共催講座として開講してきた値も含む。

(2021年12月8日現在)

7. リモート・全国 知の市場

(1) 開講機関

知の市場

詳細は <http://chinoichiba.org/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

Zoomによるリモート開講

(3) 概要

知の市場は、これまで対面での開講を重視してきたが、新型コロナ・ウィルスの影響による社会の変化に対応し、地理的・時間的な制約を緩和できる非対面（リモート）での開講も活用していくこととし、知の市場自体を開講機関として、2022年度に新たに横浜南、横浜戸塚、東京品川東、東京品川西、東京調布、東京世田谷、岐阜、福岡、大分の9拠点から全国に向けて、次の連携機関と協力して、前期に6科目、後期に7科目、通期に3科目の合計16科目を開講する。

1) 新規科目として16科目

①化学生物総合管理学会

- i) 香り物質を題材にして物質とは何かを考察し、香りと香料づくりに関わる技術について解説する科目(前期・後期)
- ii) 化学物質のばく露から作業を守るための適切な管理の方法を解説する科目(後期)
- iii) エネルギー供給の歴史を検証し地球環境時代の将来を展望する科目(前期)

iv) 社会的規範と科学的方法論について事例をもって論じる科目（前期・後期）

②社会技術革新学会

- i) 少子高齢化社会における財源問題を検証し持続可能な社会を考える科目（前期・後期）
- ii) 高度成長期イノベーションとITイノベーションの原理を比較検証して活性化を探る科目（前期・後期）
- iii) 新企業の勃興による付加価値の増大で持続的成長をめざす科目（前期・後期）
- iv) 技術革新と社会変革の係わりについて事例をもって論じる科目（前期・後期）
- v) 近代石油産業の興隆から終焉までの出来事を振り返り、石油産業が形成した世界史の展開を考察する（後期）

③今給黎歴史研究室

近世から現代までの日本の企業経営を、事例を提示し検証する科目（後期）

④社会技術革新学会、化学生物総合管理学会

講師と受講者が参加者として創意工夫によって自己研鑽のための自由な意見交換の場を創りだす科目（前期・後期）

前期後期と続く科目を両方修了した者には受講修了書を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2	20	14
2014	3	61	46
2015	6	43	26
2016	4	24	23
2017	5	52	47
2018	9	37	34
2019	8	23	23
2020	5	18	18
2021	4		
2022	18		
合計	64	278	231

※2021年度までの実績は、東京・知の市場における実績である。

(2021年12月8日現在)

II. 専門編

8. 愛知・名古屋市立大学（2）学びなおし 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学大学院医学研究科

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学大学院医学研究科は、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 継続科目として6科目

①名古屋市立大学大学院医学研究科

医療保健に関する6科目（春期）（秋期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス（1回2,000円）も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6科目は12月開講)	248	194
2009	18	1,008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	272	204
2013	6	261	202
2014	6	241	191
2015	6	252	220
2016	7	258	231
2017	6	228	193
2018	6	184	158
2019	6	68	57
2020	6	114	87
2021	6		
2022	6		
合計	108	4381	2777

(2021年12月8日現在)

9. ○○出張先○○(未定) 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学大学院医学研究科

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/> を参照する。

(2) 開催場所

出張先未定(全国の複数個所に出張して開講する予定)

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学大学院医学研究科は、毎年、全国の各地に出張して講義を開講している。

2022年度は、次の連携機関と協力して、通期で1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①名古屋市立大学大学院医学研究科

医療保健に関する出張講座1科目(通期)

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2018	3	75	75
2019	4	77	77
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	10	152	152

(2021年12月8日現在)

10. 愛知・名古屋市立大学(3) 実務教員 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/> を参照する。

中京大学

詳細は <https://www.chukyo-u.ac.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋市立大学 山の畑キャンパス・川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前)

(3) 概要

2021年度から名古屋市立大学が代表となり岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学を連携校として「進化型実務家教員養成プログラム」を実施する。その一環として、名古屋市立大学は次の連携機関と協力して前期1コース、後期2コースを開講する。

1) 継続科目として3コース(進化型実務家教員養成プログラム)

①名古屋市立大学

i) 基本専門コース(前期)

②名古屋市立大学大学院経済学研究科・中京大学経済学部

i) 経営実務専門コース(後期)

③名古屋市立大学大学院医学研究科

i) 減災医療専門コース(後期)

開催年度	コース数	受講者数	修了者数
2020	3 コース	-	-
2021	3 コース		
2022	3 コース		
合計	9 コース		

(2021年12月8日現在)

1 1. 愛知・中京大学 知の市場

(1) 開講機関

中京大学

詳細は <https://www.chukyo-u.ac.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：中京大学 名古屋キャンパス(名古屋市地下鉄 八事駅)

豊田キャンパス(名鉄豊田線 浄水駅)

(3) 概要

2021 年度から名古屋市立大学が代表となり岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学を連携校として「進化型実務家教員養成プログラム」を実施する。その一環として、中京大学は次の連携機関と協力して後期2 コースを開講する。

1) 継続科目として2 コース (進化型実務家教員養成プログラム)

①中京大学

i) 心理カウンセリング専門コース (後期)

ii) スポーツ実務専門コース (後期)

開催年度	コース数	受講者数	修了者数
2020	2 コース	-	-
2021	2 コース		
2022	2 コース		
合計	6 コース		

(2021年12月8日現在)

1 2. 東京・明治大学 知の市場

(1) 開講機関

明治大学リバティアカデミー

詳細は <http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

2022 年度については対面式かリモートか未定。

(3) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーは安全分野に関する科目を開講する。

2021 年度は、次の連携機関と協力して、前期に1 科目、後期に1 科目の合計2 科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①明治大学 リバティアカデミー

- i) 暮らしの中の安全の検証と安全を創るための方策について論じる科目 (前期)
- ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目 (後期)

120分授業16回からなる科目を前期に1科目、後期に1科目、計2科目開講する。
修了者には修了証を発行する。受講料は1科目あたり10,000円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2ユニット	169	17*
2006	3ユニット	308	186
2007	4ユニット	100	84
2008	4ユニット	119	90
2009	4ユニット	326	199
2010	2科目	144	144
2011	2科目	122	90
2012	2科目	135	112
2013	2科目	124	80
2014	2科目	134	90
2015	2科目	114	78
2016	2科目	57	51
2017	2科目	53	38
2018	2科目	49	35
2019	2科目	20	20
2020	2科目	-	-
2021	2科目		
2022	2科目		
合計	43	1,954	1,294

* : 1科目は修了証発行せず

(2021年12月8日現在)

III. 研修編

1.3. 鳥取・倉吉 知の市場

(1) 開講機関

動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は<http://www.dourinken.com/>を参照する。

(2) 開催場所

Zoomによるリモート開講、または、倉吉、岡山にける対面式開講

(3) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として2科目

①動物臨床医学研究所

臨床現場に有用な症例検討のあり方に関する2科目（前期・後期）

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	135	37
2013	2	156	44
2014	2	142	30
2015	2	135	35
2016	2	126	19
2017	2	343	0
2018	2	278	278
2019	2	251	251
2020	2	555	555
2021	2		
2022	2		
合計	26	2402	1376

(2021年12月8日現在)

1.4. 埼玉・狭山元気プラザ 知の市場

(1) 開講機関

アダムジャパン

詳細は<http://adam-japan.com/>を参照する。

(2) 開催場所

狭山元気プラザ及びアダムジャパン（西武新宿線 狭山市駅からバス）

(3) 概要

ビリヤードの用具の生産において世界を先導するアダムジャパンは、理論と実践を通してビリヤードを知るとともに世界において大きな存在感を有するその道具のものづくりについて知る科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 継続新規科目として1科目

①アダムジャパン・狭山元気プラザ

ビリヤードの理論と実践そしてその道具のものづくりに関する科目（後期）

受講料は1科目あたり15,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	10	5
2015	1	9	7
2016	1	9	8
2017	1	7	4
2018	0	0	0
2019	0	-	-
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	8	35	24

(2021年12月8日現在)

15. 東京・東京駅 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

アットビジネスセンター東京駅(JR 東京駅八重洲口・地下鉄八丁堀駅)

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供するとともに試験評価を広く実施することにより高性能二次電池の開発や日本の国際競争力の維持向上に資する東洋システムは、リチウムイオン二次電池に関する科目を開講する。

2022年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①東洋システム

リチウムイオン二次電池開発の歴史に見る技術革新の成否の要因に関する科目(前期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	107	23
2015	1	80	17
2016	1	119	23
2017	1	79	12
2018	1	107	7
2019	1	67	67
2020	1	-	-
2021	1		
2022	1		
合計	9	559	149

(2021年12月8日現在)

(注1)2014年度の開講実績は東洋システムが東京・八重洲にて、2015年度の開講実績は東洋システムが愛知・名古屋にて、2016年度の開講実績は東洋システムが同志社大学東京オフィスにて、2017年度開講実績は京都テルサ、TKP 京都四条烏丸カンファレンスセンター、2018年度はアットビジネスセンター東京にて開講したものである。

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットを知の市場の関連講座として位置づける。この展開を新たに始めた第Ⅱ期（展開期：2009～2012 年度）は毎年平均して11 拠点で30 科目を開講した。第Ⅲ期（完成期：2013～2017 年度）は平均して10 拠点で22 科目を開講した。

2022 年度は、大学・大学院編の開講はない。

開講機関	開講年度	第Ⅱ期			第Ⅲ期			2018			2019		
		開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数
放送大学		—	—	—	3科目	33	32	4科目	16	16	4科目	—	—
大東文化大学		—	—	—	1科目	132	109	—	—	—	—	—	—
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部		5ユニット	669	563	4ユニット	384	365	—	—	—	—	—	—
早稲田大学 理工学術院 大学院 3研究科		4科目	63	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻		—	—	—	1科目	50	43	—	—	—	—	—	—
早稲田大学 先進理工学研究科 共同先進健康科学専攻		—	—	—	2科目	37	27	—	—	—	—	—	—
早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻		3科目	15	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—
早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学 共同先端生命医科学専攻		3科目	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻		3科目	35	31	2科目	15 (1科目不明)	14 (1科目不明)	—	—	—	—	—	—
お茶の水女子大学		3科目	140	117	3科目	32	23	—	—	—	—	—	—
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科		1科目	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京工業大学工学部 高分子工学科		1科目	32	30	1科目	36	36	—	—	—	—	—	—
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻		1科目	22	20	1科目	25	25	—	—	—	—	—	—
筑波大学		—	—	—	2科目	6	6	—	—	—	—	—	—
大分大学 教育福祉科学部		—	—	—	2科目	14	14	—	—	—	—	—	—
福山大学大学院 工学研究科		2科目	34	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科		1科目	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京大学大学院 教育学研究科		—	—	—	1科目	75	不明	—	—	—	—	—	—
合計		30科目	1268	1068	23科目	839	694	4科目	16	16	4科目	—	—

注：第Ⅱ期の値は2009～2012年度、第Ⅲ期の値は2013～2017年度のうち開講された年数を基に算出した平均値を示す。

(2021年12月8日現在)